

けんちゃん  
ゲンゴロウ君、なんか変な虫が、タマゴからかえりましたよ。

ゲンゴロウ君  
「変な虫」なんて失礼だなあ、これがぼくの子ども。ゲンゴロウの幼虫なんだよ。

けんちゃん  
ゲンゴロウ君、ごめんなさ〜い！  
あら？ドジョウ博士、どうしたんですか？

ドジョウ博士  
（おびえて）よ、よ、幼虫さんのお、お、大きなアゴで「ガジリ」、とかみつかれたら最後、動けなくなって、わたくしたちは食べられてしまうんですよ。ああ、こわいこわい。

けんちゃん  
へえ！ゲンゴロウ君の幼虫は、ドジョウを食べるんだ。

ゲンゴロウ君  
（いじわるっぽく）  
そう、ぼくたちの幼虫は、おたまじゃくしやドジョウやらをおそって食べるのさ。  
ま、幼虫のあかちゃんはドジョウ博士みたいな元気な生きものを襲うことはないから、大丈夫だよ。  
それと、ぼくみたいな大人は、弱った魚や死んだ生きものを食べるんだ。

けんちゃん  
へえ！そうなんだ。  
ぼくにもっとゲンゴロウ君たちのこと教えて！

ぬ  
く



【解説】  
ゲンゴロウは何を食べているの？

ゲンゴロウの幼虫は、オタマジャクシやヤゴ、メダカやドジョウの稚魚、水面でおぼれた昆虫などを食べます。卵からかえってさなぎになるまでは1ヶ月あまりの間に、大きなアゴを武器に動くものなら何でも襲い、最後には8センチメートルほどの大きさになります。

紙芝居に登場するドジョウ博士も、ゲンゴロウの幼虫が小さいうちは大丈夫ですが、大きくなると食べられてしまうかもしれませんね。

ゲンゴロウの成虫は、弱った魚やオタマジャクシ、小さい水生昆虫などを捕えたり、死んだ生きものを食べたりします。幼虫の時のように、あまり強力な武器をもっていないので、生きたエサを捕まえるのは苦手です。成虫は2〜3年ほど生きています。



ゲンゴロウ幼虫